

39 マルチボックス

木工の指物技法を使い、身近に使える「マルチボックス」を製作。



<p>体験のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 木と木を組み合わせる指物技法によるマルチボックスづくりを体験する。 閉まり具合、本体と蓋の密閉度など、正確さが要求されるマルチボックスの製作を通し、材料の墨付け、ノコギリによる切断、カンナ削り、釘付けなど、各工程の大切さを学びつつ体験する。 製作を体験することで、蓋の構造や木工技法など、身近なものや伝統工芸品への関心や興味を高める。
<p>工業製品に関連する技能</p>	<p>木材加工</p>

①オリエンテーション



講師の紹介と作業の説明を聞く。その後、用具の準備をする。

②墨付けと切断練習



部材に鉛筆で墨付けをし、胴付きノコで切断の練習をする。

③墨付けと切断



図面を読み、スケールやスコヤを用いて墨付けをし、ノコギリで切断する。

④部材の微調整



組んだときに歪みが出ないように、切断した部材にカンナをかける。

⑤組立てとくぎ打ち



側面を接着剤と釘打ちで組立て、ねじれがないか確認する。

⑥サン付けと底板付け



上蓋にサンを取り付け、外枠に底板をはめて釘打ちする。

⑦磨き



紙ヤスリでボックス全体を磨く。

⑧片付けとまとめ



側面や上蓋に焼きペンで好きな絵を描いて、完成。片付け、まとめをして終了。